

1 単元名 デンマークの小学生に行きたい国を伝えよう

(ONE WORLD Smiles6 Lesson5 「What country do you want to visit ?」)

2 単元について

(1)児童について

話すこと(やり取り)の活動では、中間指導で児童のモデルを紹介したり、使いたい表現を確認したりしてきた。理由をたずねながら積極的に会話を続けようとするなど、英語を使ってやり取りすることを楽しむ姿も見られる。授業アンケートでは、9割近くの児童が「自らすすんで活動を楽しむことができる」「伝えたいことを英語で言うことができた」と答えている。また、できるようになりたいこととして、多くの児童が「外国の人々と英語で話せるようになりたい」と答えている。

これまで、新しく玖珠町に来た ALT に、町にあるものや日本の文化について、動画を撮って紹介してきた。友だちとのやり取りが楽しいと回答する児童が多い一方で、7割の児童は全体での発表が苦手だと感じている。外国語の授業だけでなく、全体の場で決まった児童が発表することも多く、自分の考えや気持ちを発表することに課題がある。

昨年度の英検 ESG の結果において、スピーキングの平均スコアは約78%であった。書くことに比べて話すことが低い数値であり、特にイラストを見てその様子を自分で説明したり、好きなことやできることなど自分自身について話したりすることが苦手な傾向にある。

(2)教材について

【付けたい力】

- 行きたい国について理由や気持ちを添えて、まとまりのある例文を参考にしながら、相手にわかりやすく伝える力。



森中央小学校学習到達目標 (CAN-DO リスト)

話すこと[発表]

イ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。



(3)指導について

- 2学期に行うデンマークの小学生との初めての交流で、行きたい国やその理由を紹介することを伝え、学習意欲を高める。交流を行う際、デンマークの小学生にわかりやすく伝えたいという児童の思いを高め、自分の行きたい国に加えて理由や自分の考えを英語で紹介する。
- 1~2時では、基本的な表現についてイラストを用いて繰り返し聞き取ったり、HRT と ALT とのやり取りを聞いたりして、表現に慣れ親しむ。3~4時では、理由や自分の考えなどを付け加えることの良さに気づきながら表現する。5時では、行きたい国についての発表をグループで行う。英語で伝える必要のある相手によりわかりやすく伝えるためにはどのような伝え方をすればよいのかを考え、互いにアドバイスをし合う活動を通して、伝えたい内容を整理しながら自分の考えを加えたり、相手にたずねたりしながら伝えるなど、伝え方の工夫をする。6時では、実際の交流の場面を想定して、グループや全体で行きたい国についての発表を行う。

【言語材料】

- 表現 What country do you want to visit ? / I want to visit ~. / Why? / I want to ~. / You can ~. I like ~. / It's~. / I see. / It's great! /
- 語彙 国名、動詞

3 単元の目標

デンマークの小学生に自分の行きたい国について紹介するために、伝える内容を整理し、表現を工夫しながら自分の考えや気持ちを添えて伝えることができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<p><知識>国名を表す語句や What country do you want to visit? I want to visit ~. 等について理解している。</p> <p><技能>自分の行きたい国と理由について、What country do you want to visit ? I want to visit ~.等を用いて、考えや気持ちを伝える技能を身に付けている。</p>	デンマークの小学生に「行ってみたい」と思ってもらえるように、伝える内容を整理し、表現を工夫しながら、行きたい国やその理由について、自分の考えや気持ちも含めて紹介している。	デンマークの小学生に「行ってみたい」と思ってもらえるように、伝える内容を整理し、表現を工夫しながら、行きたい国やその理由について、自分の考えや気持ちも含めて紹介しようとしている。

6 指導と評価の計画(単元指導計画)(全6時間)

	単元計画	評価 ★記録に残す評価場面		
	題材/ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	「世界の様々な国について知ろう」 行きたい国のたずね方・答え方やその理由について、世界の子どものインタビューやALTの話を聞くことを通して、理解することができるようにする。 ○教 p.54-55	国名や What country do you want to visit ? I want to visit ~.を用いた表現を理解している。 【行動観察】		
2	「行きたい国やそこでできることの言い方を知ろう」 行きたい国やそこでできることの言い方を世界の子どものインタビューや旅行会社での会話を聞くことを通して、理解することができるようにする。 ○教 p.54-58	行きたい国やそこでできることについて What country do you want to visit ? I want to visit ~. You can ~.を用いた表現を理解している。 【ワークシート】		
3 (本時)	「行きたい国や理由についてたずね合おう」 行きたい国とその理由をインタビュー形式のやり取りを通して、たずね合うことや、伝え合うことができるようにする。	★行きたい国とその理由について、What country do you want to visit? I want to visit~. Why? I want to~. You can~.等の表現を用いて伝えている。 【行動観察・動画撮影】		
4	「相手に興味をもってもらえるように自分の行きたい国を紹介しよう。」	行きたい国とその理由や自分の考えについて、What country do you		

	行きたい国について、相手に興味を持ってもらうために、理由だけでなく魅力や自分の考えを添える表現を使うことに気付き、使うことができるようにする。	want to visit? I want to visit~. Why? I want to~. You can~.It'~.等の表現を用いて伝える 【行動観察】		
5	「相手に興味を持ってもらえるように行きたい国を紹介しよう。」 行きたい国について、グループ内でアドバイスをしあう活動を通して、相手に興味を持ってもらえるように、見どころや自分の考えを加えたり、伝え方の工夫をしたりすることができるようにする。		★行きたい国とその理由について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、自分の考えを伝えている。 【動画撮影・記述分析】	★行きたい国とその理由について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、自分の考えを伝えようとしている。 【動画撮影・記述分析】
6	「交流会に向けて行きたい国を紹介しよう」 行きたい国とその理由について、伝わりやすいように順番を考えながら話すことができるようにする。			

7 単元のゴールの姿

<p>Hello. What country do you want to visit ? I want to visit America. I like baseball. I like Otani Shohei. I want to watch a baseball game. Do you like baseball ? You can eat a big hamburger. It's delicious. Do you want to visit America ? Thank you.</p>
--

8 本時の指導(3/6)

- (1) 題目 行きたい国とその理由についてたずねあおう。
- (2) 本時のねらい 自分が行きたい国やその理由について、インタビュー形式のやり取りを通して、理由を含めて伝えることができるようにする。

時間	学習活動	児童の活動及び指導上の留意点	備考・評価
2	1. Greeting ・あいさつをする	・ペアであいさつをさせる。 ・日づけ、曜日、天気をたずねる。(ALT)	
7	2. Warm-up ・チャンツに取り組み、単元を通して使用する英語表現に慣れ親しむ。 ・ポインティングゲームに取り組み、国名に慣れ親しむ。	・What country do you want to visit ? I want to visit ~.のやりとりをリズムに合わせて歌う。 ・児童が教師に質問をして、教師が答えた国名カードを選ぶ。 C: What country do you want to visit ? T: I want to visit ().	

31	<p>3. Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What country do you want to visit?をテーマにして、Small Talk を行う。 <p>・本時のめあてを確認する。</p> <p>・本時は「理由」を付け加えてやり取りすることを理解した上で、使用する英語表現に慣れ親しむ。</p> <p>・自分が行きたい国とその理由を友だちとたずねあう。</p>	<p>・HRT と ALT のやり取りを聞かせたあと、児童ともやり取りを行い、行きたい国に加えて理由をたずねていることに気付かせる。</p> <p>【教師と児童の会話例】 T: What country do you want to visit? C: I want to visit Korea. T: Why? C: I like spicy food. I want to eat “<i>Budae jjigae</i>”.</p> <p>・単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを位置付ける。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">行きたい国とその理由を伝え合おう</p> <p>・HRT と ALT のやり取りをもう一度行い、どんな単語が聞き取れたかを確認する。その上で、理由を付け加えることのような効果があるかを考える。</p> <p>・数名の児童とやり取りを繰り返し、使われている表現に十分慣れさせる。</p> <p>・教師とのやりとりで、児童にとまどいが見られる場合は、HRT と ALT のやり取りを何度も聞かせて、表現に気づかせる。</p> <p>・理由を伝える表現として I want to～. があることに気づかせ、実際に使ってやり取りをさせる。</p> <p>例 I want to see the auroras. I want to see the Pyramids. I want to eat French bread.</p> <p>【児童の会話例】 A: What country do you want to visit? B: I want to visit America. A: Why? B: I want to watch a baseball game.</p> <p>・中間指導を行い、言い方の難しい表現やわからない表現等がないかを確認し、全体で共有する。</p> <p>・HRT と ALT は、児童の様子を把握し、やり取りに困っている児童がいた場合は、助言をして、児童同士で解決をするよう促す。</p> <p>・既習表現や参考になる表現を使ったり、正確に言えたりしている児童をモデルとして紹介する。</p> <p>【予想される既習表現や参考になる表現】 I like ～. You can ～. We can ～It’s ～.</p> <p>・ペアで動画撮影をして、正しく表現できているかを確認する。</p>	<p>「話すこと(発表)」(知識・技能)</p> <p>行きたい国と理由について What country do you want to visit? I want to visit～. Why? I want to ～. I like～. などを用いてたずねたり答えたりしている。</p> <p>【行動観察・動画撮影】</p>
5	<p>4. Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをする。 <p>5. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを再確認し、振り返りカードに記入させ、数名の振り返りを全体で共有する。 ・終わりのあいさつをする。 	

